

ミュージックセラピー

福祉介護系列の3年生は7月2日の火曜日に静岡英和大学の山田美代子教授のご指導のもと、ミュージックセラピーの授業を行いました。



山田先生がキーボードで弾いてくれた「Jupiter」に合わせて、3年生一人一人が気持ち一つにして、トーンチャイムを使って一緒に演奏をしました。

ミュージックセラピーとは??

音楽療法の一つ!

音楽や楽器を使って高齢者の方とコミュニケーションをとり、音でケアをすることです。

学んだこと

私が今回ミュージックセラピーで学んだことは、コミュニケーションに会話がなくても、普段耳にする音で利用者さんと絆を深めることができるということです。(岩田)

私が今回の講演で学んだことは、音楽という治療法があり、音楽を通して利用者さんの子どもの頃に流行った歌、介護者さんが、子どもの頃に流行った歌をお互いに情報交換できるということです。(勝呂)

うたうことの効果

- 体温を保つ。
- 不安な気持ちを仲間と声を出すことによって発散し、気持ちをコントロールする。
- 生きる希望を歌詞から得て、夜を乗り越える。
- 今(瞬間)を生き存在し続ける自分を仲間と感じ奮い立つ。

感想

うたう ということは。。。生きる ということ。うたうことには、たくさんの効果があるということを知りました。そして、時代が変わっても音楽のパターンは変わらないということ、音楽は、コミュニケーションの一つで会話をしなくても、意志を伝えることができることを改めて、知る事ができました。

私たちも初めての体験だったので貴重な時間を過ごせる事ができました。

今回のミュージックセラピーで学んだことを今後の進路選択に活かして 3408 岩田 笑夏
いますたいです。 3520 勝呂 杏華